

用語の定義

「調査年」

「第1回」～「第6回」とは、それぞれの回の調査で把握した項目で、各調査年は次のとおり。

- 第1回(第1回調査) 平成17年
- 第2回(第2回調査) 平成18年
- 第3回(第3回調査) 平成19年
- 第4回(第4回調査) 平成20年
- 第5回(第5回調査) 平成21年
- 第6回(第6回調査) 平成22年

「仕事をしている」

ふだん収入になる仕事をしている場合をいう。

「仕事をしていない」

パート・アルバイト、内職等も全くしていない場合をいう。

仕事のかたち

「自営業主」

個人経営の商店主・工場主・農業主等の事業主や開業医・弁護士・著述家・行商従事者等をいう。

なお、法人組織(株式・合資・合名の各会社)になっている商店の経営者の場合は、「会社・団体等の役員」としている。

「家族従業者」

農家や個人商店等で農作業や店の仕事等を手伝っている家族をいう。

「会社・団体等の役員」

会社の社長・取締役・監査役、団体の理事(長)・監事、公団や事業団の総裁・理事等をいう。

なお、部長、課長等のいわゆる管理職の場合は、理事等の役員になっていなければ、含まれない。

「正規の職員・従業員」

会社・団体・官公庁・個人商店等に雇用期間の定めなく雇われている人をいう。

「パート・アルバイト」

就業時間や日数に関係なく、勤務先で「パートタイマー」「アルバイト」または、それらに近い呼称で呼ばれている人をいう。

「労働者派遣事業所の派遣社員」

労働者派遣法に基づく労働者派遣事業所に雇用され、そこから派遣されている人をいう。

「契約社員・嘱託」

専門的職種に従事させることを目的に契約に基づき雇用されている人や雇用期間の定めのある人、労働条件や契約期間に関係なく、勤務先で「嘱託職員」または、それに近い呼称で呼ばれている人をいう。

「家庭での内職など」

家庭で賃仕事をしている人をいう。

「その他」

仕事のかたち「自営業主」～「家庭での内職など」以外をいう。

「就業希望の有無・希望する仕事のかたち」

第1回及び第6回に「60～64歳」「65～69歳」「70歳以降」の年齢区分ごとに希望している仕事のかたちをいう。今回の集計では、第1回の「60～64歳」、第6回の「65～69歳」及び「70歳以降」の年齢区分の回答を使用した。

「生活のまかない方」

第1回に、60歳以降の生活をまかなうために、「60～64歳」「65～69歳」「70歳以降」の年齢区分ごとに選択した主な3つをいう。今回の集計では「60～64歳」の年齢区分の回答を使用した。

「借入金」

調査日における借入金をいう。

土地・家屋の購入、耐久消費財の購入、教育資金などに充てるために借り入れたもので、金融機関のほか、勤め先の会社、共済組合、親戚・知人からのものも含む。

「預貯金」

調査日における預貯金で、以下のものが該当する。

- ・金融機関への貯金(預金)
- ・生命保険、個人年金保険、損害保険、簡易保険のこれまでに払い込んだ保険料(掛け捨ての保険は除く。)
- ・株式、株式投資信託、債権、公社債投資信託、金銭信託、貸付信託(株・債権は時価で計算した額)
- ・その他の預貯金(財形貯蓄、社内預金等)

「仕事のための免許・資格の取得」

第1回調査時で、今までに仕事のために免許・資格(医療専門職、社会福祉専門職等の医療・保健衛生・社会福祉関係、幼稚園・学校教諭免許、専門的事務処理技能等の事務処理関係、車両運転船舶運転免許などの運輸・通信関係など)を取得したことの有無をいう。

「仕事のための能力開発・自己啓発の実施」

第1回調査時までの1年間(平成16年11月～平成17年10月)に仕事のための能力開発・自己啓発(「公共機関(学校を除く)に通った」、「大学や各種学校等の学校に通った」、「団体・会社等民間の機関(学校を除く)に通った」)について、実施したことの有無をいう。

健康状況

「よい」

調査日現在の健康状態について、「大変良い」「良い」「どちらかといえば良い」と回答した者をいう。

「わるい」

調査日現在の健康状態について、「どちらかといえば悪い」「悪い」「大変悪い」と回答した者をいう。

健康状態の変化

「第1回からずっと「よい」」

第1回から第6回までの健康状態において、継続して「よい」と回答した者をいう。

「「わるい」から「よい」に変化」

第1回の健康状態が「わるい」と回答した者のうち、第6回までに「よい」となった場合をいう。第2回で「よい」、第3回で「わるい」と回答した場合、「その他の変化」としている。

「「よい」から「わるい」に変化」

第1回の健康状態が「よい」と回答した者のうち、第6回までに「わるい」となった場合をいう。第2回で「わるい」、第3回で「よい」と回答した場合、「その他の変化」としている。

「第1回からずっと「わるい」」

第1回から第6回までの健康状態において、継続して「わるい」と回答した者をいう。

「配偶者」「夫婦」

事実上夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない者も含む。

「同居者の構成」

同居している者の続柄から分類している。「単独世帯」「夫婦のみの世帯」以外は、兄弟姉妹やその他の親族がいる場合を含む。親には配偶者の親も含む。

「単独世帯」

配偶者の有無を問わず、本人以外に同居者がいない場合

「夫婦のみの世帯」

本人と配偶者以外に同居者がいない場合

「三世代世帯」

本人が親・子と同居している、本人が子・孫と同居している、または子の有無を問わず本人が親・孫と同居している場合

「親あり子なしの世帯」

本人と親が同居していて、子がない場合

「親なし子ありの世帯」

本人と子が同居していて、親がない場合

「その他の世帯」

上記以外